

第12回ファミリーホーム全国研究大会 in OSAKA

DREAMS COME TRUE～みんなで描こう未来予想図～

一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会 近畿ブロック
〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町大谷 657-3

助成事業の概要

2017年(平成29年)8月4日(金)～5日(土)の2日間、大阪府吹田市にあるホテル阪急エキスポパークにて、一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会 近畿ブロックの大阪大会実行委員会が、第12回ファミリーホーム全国研究大会を開催しました。国及び厚生労働省は、社会的養護を必要とする子どもは、施設ではなく「家庭」を用意し提供する。という方向性を出しています。

ファミリーホームはその担い手となる制度です。

ファミリーホーム制度の充実が、社会的養護を必要とする子どもたちの未来への支援へとつながります。本大会は1日目に全体研修、2日は分科会です。

この大会には、全国各地のファミリーホームから、ファミリーホームで生活する子どもたち、養育者、関係者が参加し、ファミリーホーム制度の充実、養育者としてのスキルアップ、ファミリーホームで生活する子どもたちの理解、ファミリーホームへの支援等を、全体研修及び分科会を開催して学びます。

全体研修では、厚生労働省や大阪府の職員、協力団体の中小企業家同友会の方、大学の先生、ファミリーホームの養育者による「ファミリーホームと自立支援、」をテーマにしてシンポジウムを行いました。

2日目の分科会では、「中小企業家同友会との協働」「子どもの居場所作り」「ファミリーホームの未来予想図」「子どもの養育と親支援」「実子のケア」

の5分科会を行いました。

各分科会では、日々ファミリーホームの現場にいる養育者や当事者に話をしてもらい、現場の声を数多く聞き、皆で議論をしました。

事業の成果

今大会には、全国各地から86のファミリーホーム、施設関係者、大学関係者、児童福祉を学んでいる学生の参加があり、研修参加者は240名。また、子どもたちは181名の参加がありました。

そして参加した子どもたちと一緒に、子どもプログラムのサポートをしてくれた、学生ボランティアさん及び里親支援専門相談員さんが約200名と、かなりの大規模な全国研究大会となりました。

大会テーマにもある、DREAMS COME TRUE～みんなで描こう未来予想図～の通り、現状のファミリーホームの制度や、自立支援の在り方、子どもたちが抱える課題はたくさんありますが、その事よりも、これからの未来に向けて、子どもの自立・子どもたちの将来の夢の実現に向けて、大人や社会や地域がどのような支援、どのようなサポートが必要で出来るのか。という事が、1日目のシンポジウム、2日目の各分科会で議論の中心となりました。

1日目のシンポジウム、2日目の「中小企業家同友会との協働」の分科会で、ファミリーホームと各地域の中小企業家同友会とが協力して、ファミリーホームで生活している子どもが、地域の企業さんへ行き、職場体験、職場実習を行う取り組み

は、子どもが自分で仕事を選択する、仕事をする事を学ぶ、職場での人間関係を学べる。といった数多くの、子どもにとって貴重な体験が出来る機会となっている事が報告されました。

この取り組みはまだ近畿ブロック独自の取り組みなので、日本各地のファミリーホームの方々からや、中小企業家同友会さんからも、ぜひ自分の地域でも取り組みたい。全国に広めていきたい。という意見や感想が数多くありました。全国各地で、子どもたちをサポートしたり、支援する大人や企業が増えていく、きっかけとなる全国研究大会になれたことと思います。

■ 成果の広報、公表

今大会の広報・公表は、日本ファミリーホーム協議会のホームページでの大会報告の掲載。そして、全国のファミリーホーム、ファミリーホーム以外の協議会の会員、厚生労働省、各都道府県及び政令指定都市のファミリーホームの主管課と児童相談所、また各関係団体を含めた総数約 760 箇所に、全国研究大会の報告を兼ねた会報誌を、日本ファミリーホーム協議会が作成し郵送します。また、この会報誌も完成でき次第、日本ファミリーホーム協議会のホームページに掲載します。

■ 今後の展開

各地域でファミリーホームと中小企業家同友会とが連携を取り、子どもたちが職場体験・職場実習が出来る仕組み作りを、近畿の取り組みを参考に全国に広がっていけるような体制作りが必要。だが、ファミリーホーム側も、中小企業家同友会側も、お互いの窓口や中心となる人材を明確にしづらい部分があるので、情報交換・情報共有の仕組み作りが課題です。

また、1 日目の FamiZania という、子どもたちのお仕事体験のプログラムも、各地域の企業や、中小企業家同友会の方々が、子どもたちにお仕事体験をするブースを準備していただき開催しました。この取り組みも、ファミリーホームの子どもたちと企業が出会えるきっかけになるので、これからの子どもたちの自立支援は、FamiZania でのお仕事体験と、中小企業家同友会との協働による職場体験・職場実習で、多くの大人が子ども 1 人 1 人の、夢の実現や自立に向けてのサポートが出来る社会にしていきたいと思います。